昭和51年8月6日発行 第1巻第4号

岐阜県の

国の合成樹脂需要調査研究会発足へ

1976 8月号

51627

50年のプラスチック生産量

わが国における昭和50年の主要 プラスチック生産量がまとまった。 日本プラスチック工業連盟が諸資 料をもとに集計したもので、50年 の年間プラスチック材料生産量は 516万7千トンで、前年比77.2% とわが国プラスチック業界始って いらいの減少を示した。

一方、プラスチック製品につい ても、49年からすでに前年を下回 り(84.4%)、50年には製品加 工量は263万1千トンと前年比 86.8%まで落ちた。これは最盛 時の48年に比べ73.2%という大 幅な下落である。

これで材料生産量は昭和45年の 線まで、また、製品生産量は昭和 46年の線まで後退したわけである。 生産金額では材料が1兆768億円 (前年比85.8%) 製品は1米3599億 円(前年比88.3%)となり、材料、製 品とも49年に比べダウンしたが48 年をやや上回った。

中期需要見通し検討

合成樹脂調査研究会発足へ

通産とレジン・加工・学識の四者構成

通産省基礎産業局は日本プラスチック工業連盟の要請を受け、合成樹脂の中期需要見通しを検討するための新しい組織「合成樹脂需要調査研究会」(仮称)をスタートさせることになった。

新しい合成樹脂需要調査研究会は、通産省基礎産業局のほか原料樹脂業界ならびに成形加工業界の代表、それに学識経験者を含めた四者構成による研究会とし、主要合成樹脂産業の長期ビジョンとその長期ビジョンにもとずいた中、短期の需要見通しを検討するものである。

従来、汎用合成樹脂については通産省が独自の需要見通しをまとめ関係業界に示してきたが、 こんではその精度を高めるためレジン業界のほか、末端市場に最も近いポジションにいる成形 加工業界の考えも十分に取り入れることが必要 と判断し、調査研究会を発足させるわけ。

基礎産業局では8月中にもスタートさせ、長期ビジョンの検討に入り、そのうえで今年度下

期の中期見通しのまとめに入る方針である。

このように需要業界が加わる形で需要見通し が検討されていくのは、石油化学業界では初め てのことだが、石油化学、とくに合成樹脂の需 要回復が大副に遅れており、需給均衡の重要性 が従来以上に強まっているだけに同研究会の役 割が注目される。

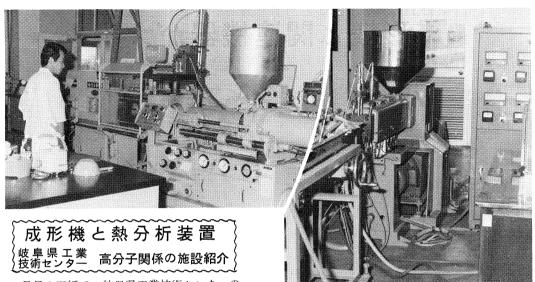
なお、加工業界がこの需要見通しを重視してほしいと希望しているのは、加工製品の需要回復にたいしてきわめて厳しい見方をしており、原料樹脂の需給均衡に神経をとがらせているからといえる。これは過去10数年続いたエチレンセンター主導型の生産活動を末端需要主導型に転換するよう希望しているともいえる。

NIIGATA ニイガタ

射出成形機

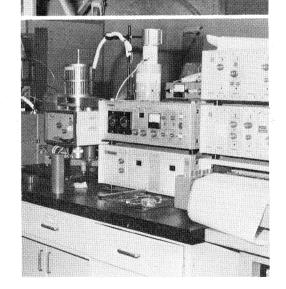
(株)新潟鉄工所名古屋営業所

〒460 名古屋市中区栄二丁目1の1(日土地ビル) TEL052-221-7621



7月号の表紙で、岐阜県工業技術センターの 高分子材料研究室を写真紹介しましたが、8月 号では高分子加工実験室と高分子分析研究室の 施設機器を紹介します。

高分子加工実験室には射出成形機、圧縮成形機、押出成形機などが設置されている。プラスチック材料の加工性、製品化の諸問題について解明、応用開発したり、成形条件の確立などの基礎研究を行ないます。また、高分子分析研究室は熱分析装置などを備え、各種プラスチック材料の分析と化学的性質および製品の耐熱性に関する研究をします。(写真は上が射出成形機、上右は押出成形機、右は熱分析装置)



不飽和ポリエステル樹脂 RIGOLAC(リゴラック)

低 収 縮 樹 脂…… MMD用・SMC用・BMC用 低 収 縮 成 形 材 料…… SMC・BMC ビスフェノール系耐食樹脂……

ビスフェノール系耐食樹脂…… LP-1系

昭和高分子株式会社

本 店 東京都千代田区神田錦町 3 - 20(神田中央ビル) **☆** (03)293 - 3631 大阪支店 大阪市東区京橋 2 - 15(松村ビル3階) **☆** (06)942 - 2201 名古屋支店 名古屋市中区丸の内3 - 18 - 12 **☆** (052)951 - 5351

10月28日から 大阪でジャパンプラス76

日本プラスチック見本市振興会は、ことし10月28日から11月3日まで大阪市港区の国際見本市会場で「ジャパンプラス76-日本プラスチック・ゴム見本市」を開催する。

プラスチックおよびゴムの原料・製品・成形機・関連機器を展示するもので、このほど最終決定した会場規模によると、出品社130社、展示小間610小間(約4,600平方メートル)が予定される。

出品内容を見ると、成形機・関連機器が圧倒的に多く、大手、中堅メーカーはほとんど参加している。これに対して原料・製品関係はきわめて少なく、主催者側では原料メーカーに対し参加を再呼びかけするという。また、参加しやすいように成形加工業者がいだく材料ならびに技術上の問題について原料メーカーと話し合える「テクニカル・サービスコーナー」を開設することになった。

なお、テクニカル・サービスコーナーには三 菱化成工業、三井石油化学、日産化学工業、ユ ニチカ、信越化学の参加が決っており、最終的 には10数社になりそう。

東京では「76東京パック」

76東京国際包装展主催の「76東京パック」は 9月3日から東京・晴海の国際見本市会場で開かれる。出品参加は内外の831社にのぼり、その出品小間数は2,040小間と不況下にかかわらず最大規模になりそう。

出品傾向は包装材料14%、包装荷造機械が47%、包装材料加工機械4%、食品機械14%、関連機材3%、物流運搬器2%で、包装材料と包装機械の出品が80%を占める。このほか海外各国からの出品参加が16%もある。

開催を記念して「76東京パックシンポジュウムー展示品の見どころ発表会」が9月3日から4日間、晴海会場内の特設会場で開かれる。また、9月3日から6日間、都内の銀座松屋で「パッケージ広場76ーみんなで考えるくらしと包装」も開催される。



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲 5 の 7 名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F) TEL <052> 582-5 0 7 1

社宅や福祉の資金に

51 年度雇用促進融資の案内

昭和51年度の雇用促進融資の募集が、昭和 52年1月31日まで行なわれる。

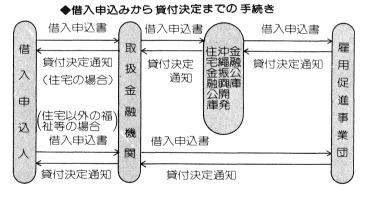
この融資は、労働者の雇用の促進と、あわせ て労働者の向上を図るため、公共職業安定所を 通じて従業員を雇用する事業主又は事業主の団 体に対して、従業員の社宅や福祉施設を設置整 備する資金を長期、低利で貸付けられる。

<借りられる資金>

- ○従業員住宅…世帯用社宅、単身者用寄宿舎
- ○福祉施設……食堂、浴場、図書室、卓球室、 託児所等の施設及び設備備品
- ○職業訓練施設…教室、実習場及び機械

<金利と返済期間>

金利 中小企業…年7.5%、大企業…年8%



期間 建物は30年~15年以内。資金の種類、 建物の構造によって異なる。例えば耐火構 造の社宅は30年以内、木造の社宅は18年以 内。

<借りられる金額>

社宅は一戸あたり約500万円。

資金の種類、対象面積、地域、企業規模、構 造によって異なるが、一般的な例は次のとおり。 5階以下65㎡耐火構造社宅 1戸当り約500万円 5階以下20㎡耐火構造寄宿舎1戸当り約150万円 このほか、土地代も借りられる。

<年々の返済>

耐火構造の社宅を建設するのに1,000万円借り た場合、年利7.5%、30年返済とすると、初年 度の返済額は、元利合計約110万円(元金約33万 円利息約77万円)となる。

<担保その他の条件>

融資対象物件、及び建設敷 地が自己所有の場合はこれを 担保に提供。なお、融資物件 が機械の場合は、不動産等必 要と認める担保を提供。

保証人は1名必要。法人は 代表者が保証人。

TOSHIBA 東芝機械株式会社

社 東京都中央区銀座4丁目2-11 本 名古屋営業所 名古屋市中村区笹島町1-221-2(豊田ビル3F) 化工機課 TEL <052> 561-8341

通産省 合成樹脂加工業を調査

通産省化学製品課はこのほど合成樹脂の圧縮または射出成形加工業の実態を調査した。調査対象年次は昭和49年であるが、業界の実態をはっきり知ることができる。

<企業規模>49年末における中小企業(従業員300人まで)は94.1%、大企業は5.9%となっている。この10年間の推移をみると、中小企業が減少し、大企業が若干増えつつある。

また、39年と49年を比較してみると、従業員 30人未満が39年の60.8%から、49年には48.5% へと12.3%も低下した。この低下分はほとんど 30人-199人の規模に移行してきたものとみられる。

<製品別企業構成>日用品と工業用品に大別して製品別企業構成をみると、49年は54.4%が工業用品専業、16.8%が日用品専業、28.8%が日用品と工業用品の兼業形態である。

89年の実績と比較すると、日用品生産企業が減少し、工業用品生産企業が増加してきている。とくに49年は集計対象企業にもよるが、日用品専業企業が大幅に減少した反面、工業用品専業者が大幅に増えている。

圧縮専業は急減、射出は急増

< 業態別企業構成 > 49年の業態別企業構成を みると、圧縮成形専業が9%、射出成形専業が 37.1%、兼業形態が58.9%である。兼業も含め て圧縮成形を行なう企業は58.5%、射出成形を 行なう企業は89.3%である。

39年の圧縮成形専業は31.4%だったが、49年は9%と3分の1以下に低下した。反対に射出成形専業は39年の18.1%から37.1%と2倍以上になった。

兼業も含めると、39年に圧縮成形を行なうものは71.7%、射出成形を行なうものは64.3%となっており、49年とは著しく異なる結果が出ている。兼業形態は39年の50.5%から49年には、53.9%へと3.4 %増加している。

中小の平均従業員は54.4人

<平均従業員>平均従業員数は、49年が中小企業の平均で54.4人、大企業では1015.2人である。この全従業員を中小企業と大企業にわけてみると、中小企業に従事するものが46.3%、大企業に従事するものが53.7%で、大企業に従事するものが若干多い。

段ボール・製造・販売 各種包装資材



東海包装株式会社

本社·工場 岐阜県本巣郡穂積町野白新田21 〒501-02 ☎ 05846-3-1155 (代表)

◎ ポリプロベースの新成形材 ◎

三菱油化(黒川久社長)はポリプロピレンをベースとする新しいタイプの複合成形材料の開発に成功「サルベックス J L シリーズ」として販売開始した。

新成形材料はポリプロに特殊処理して、無機物を高濃度配合混練したもので、ポリプロのもつ特性をそこなわず剛性、耐衝撃性を高めている。とくにオレフィン系樹脂にはない輝やくような光沢をもたせれることが特徴である。同社ではABS樹脂の代替をねらい家電、自動車部品向けなどに需要開拓をはかる方針。

生産量は当面は月間100トンだが、今秋には200トンまでアップする計画。価格は1キロ当たり320-350円とABSよりかなり下回るため、家電部品や自動車部品の成形材料として期待されている。

◎エポキシ10月から再値上げ◎

エポキシ樹脂業界は原料値上がりを始めとするコストプッシュを理由に、樹脂の再値上げを計画している。シェル、日本チバガイギーなど業界各社が打ち出している値上げ幅は、平均キロ当たり50円で、10月実施をメドにしている。

エポキシ樹脂各社はことしの春、2年半ぶり

に20-25%を値上げしたばかりだが「これはナフサ25,500円ベースの価格修正で、原価割れを修正しただけ」としている。したがって、こんどの再値上げは「ナフサ27,800円ベースの価格修正である」としている。

このエポキシ樹脂はエピクロルヒドリン、ビスフェノールを原料にしているが、その原料メーカーが少ないこともあって原料価格の値上がりが強い半面、同業界の操業率が平均60%弱と低操業にあえいで、コスト割れの状態が続いているという。

◎ナイロン6徐々に需要急増◎

ナイロン 6 は、ことしに入ってから徐々に需要が増え、各メーカーは一層の販路開拓に力を入れている。現在の最大需要分野は自動車部品と弱電部品で、フィルム、ブロー製品関係の伸びもめだっている。

三菱油化株式会社

取締役社長 黒 川 久

本 社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル) TEL (03) 283-5689代 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区広井町3丁目88番地(大名古屋ビル5階)

TEL(052) 563-5 6 4 1代

◎ エチレン需要見通しまとまる ◎

エチレン需要見通しのうち内需は51年度315 万5千トン、52年度389万トン、53年度865万4千トン、 55年度424万4千トン、60年度600万トンである。

また、輸出見通しはエチレン換算で、51年度 70万トン、52年度78万トン、53年度75万トン、55 年度70万トン、60年度60万トンとなる。

◎ 香港フラワー活気を取戻す ◎

香港貿易発展局が伝えるところによると、ことし1~4月期の香港製プラスチック・フラワー輸出は、再び活気を取り戻どしたという。

この期間の輸出総額は1,500万米ドルで、前年 同期比74%増加。しかし、1975年の総輸出額は 4,020米ドルで、前年比41.9%減であった。

なお、香港製プラスチック・フラワーの主要 市場は米国、日本、カナダ、英国、西ドイツな どで、中でも最大市場の米国へは全体の74%も 輸出している。

◎射出成形機需要回復の兆し◎

射出成形機業界は極端な需要不振のため在庫が急増、経営不振を続けてきたが、このところ 需要が復調しはじめたという。とくに大手メーカーの間でこの傾向が強く、フル操業に入った 企業もあるようだ。

主力ユーザー業界である家電と自動車業界が 好況になりつつあることが理由で、機種別には 小型精密成形の需要が活発である。このため成 形機メーカー各社は小型機種に力を入れている。 しかし、この分野になかなり海外輸入機が入って おり、こんご激しい競争が展開されそう。

◎ 三菱化成が秋から PPを生産 ◎

三菱化成工業は新たにポリプロピレンの企業化を行なう。わが国のポリプロピレン生産は、三菱油化、三井東圧化学、チッソ、住友化学工業、三井石油化学、昭和電工など10社が行なっている。三菱化成はこれに続くもので、今秋から水島工場で生産をし、当初の生産規模は年間3万トンを予定している。

なお、出光石油化学も来春からポリプロピレンを生産する計画という。

山田化成株式会社

取締役社長 山 田 正 水

本 社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号 TEL(03)256-7861代

名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル) TEL(052) 961-6591代 今今今今今今今今今今今今今今今今今今今今今今今今和合員のずいひつ 今今今今

頼れる社員



武藤昭三

先日、ある商社マンが 「中小企業の社長は大変 ですね。心から同情しま す。副社長か専務にはな

りたいと思いますが、決して社長にはなりたい と思いません」というのである。社長がサラリ ーマンに同情されるとは変な時代である。誠に 経営者受難の時代というべきであろう。

社長とは、大変な嵐の中で航海を続けなければならない船長の様なものだ。無責任な情報がやたらと多いので、レーダーも用をなさない。 孤独と戦いながら、蛇をとり、船を必死に守る。 こんな時、船長にとって頼りになるのは、優秀な愛すべき船員だけであろう。一方、船員とても、船長だけが頼りである。一蓮托生、まったく中小企業の今日の姿である。

いざという時に、頼りになる社員を日頃から 育成しておかねばならない。それにはまず、経 営者自身の姿勢が問題だと思う。企業の原点は 経営者の心である。その心に打たれ、感動し、 共鳴して集った社員とそ頼りになるのである。 世の中が、どんなに変っても、自然の原理は変わらない。人間の心理もまたしかり。私心を捨てて事に当たれば、社員は必らず奮起する。私利私欲を捨て、誠心誠意、会社のため、社員のために立ち向う経営者の姿を見て、感動しない社員はいない。その社員の懸命に働く姿を見て、感激しない社長もいないであろう。この心と心の結びつきこそ、経営の根源だと思う。

社員のかくれた能力を引き出し、芽ばえた能力を大きく育てる様、ある時は叱り、ある時は励まし、壁に突き当たれば、共に苦しみ、共に考えてやる。こんなことを繰り返えし、何時の間にか社員は大きく成長するのである。

企業の発展は、利益の積み重ねによることはいうまでもないが、だからといって、金儲けだけを追って経営すると、ともすれば心が賎しくなりがちである。いわんや、そこに私慾を挟めば、たちまち優秀な人材を失い、大きな損失を招くであろう。

豊かな心に、人材が集り、金も集るのではなかろうか。しかしながら、わが社には金が一向に集まらないのが、誠に不思議である。

(各務原市・武藤合成社長)

中外貿易株式会社

取締役社長 土 井 宇 太 郎

本 店 〒104 東京都中央区築地 1 丁目12番22号(コンワビル) 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区広井町 3 丁目98番地(名古屋ビル) 電 話(052) 541-8 1 7 6 代)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◆◇◇◇ 組合員の工場拝見◇◇◇◇◇

シートでは全国屈指



大垣市の双葉 工業を訪問

組合員の工場拝見第 3回は、副理事長の林 三郎さんが経営する双 葉工業(資本金1,500

林 三郎 社長 万円、従業員188人)を 訪問した。工場は大垣市林町にある本社事業部 と養老郡養老町の名神沿いにある日吉事業部に わかれる。

本社事業部はもちろん創業(昭和28年)の地で、本社事務所、中部営業所と本社第一工場、同第二工場からなる。第一工場は製造部門の中核で、ビニールロッカー、テーブルクロス、こ

たつ掛カバーなどを生産しており、主としてインテリア製品と新商品が中心。また、第二工場は高周波キルティング連続加工機 3 基とスライド式ウエルダーを駆使してキルティング、ウエルダー型押しなど高度の技術を発揮してビニール特殊素材を生産している。

関連商品の開発に全力あげる

日吉事業部(45年稼動)はシート工場、ラミネート工場、配送センターからなる。シート工場は同社が開発、科学技術庁長官賞を受賞(44年)した特殊中間接着機とその改造機でポリエチレンクロスシートを量産、これを農業用、工業用、建築用など各種のシートに加工している。また、近年は関連商品の開発にも取組み、製品

。 始業時で勝負を決める PLASTAR TMシリーズ

毎朝成形機の運転開始の時、前日と同じ条件・設定にもかかわらず、最初は安定した成形品が出来ない。こんな事で御困りの方は、是非プラスターTMシリーズを御使用下さい。

抜群の再現性をもって皆様に奉仕します。

★プラスターTMの特長

①安定成形 ②最適成形 ③高速成形 ④ノンストップ成形 ⑤安全成形

BSK 東洋機械金属株式會社

本 社・工 場 明 石 市 二 見 町 福 里 名07894(2)2345代 名古屋営業所 名古屋市中村区則武1丁目2番1号(兼重ビル) 名052(452)1066代 岐阜出張所 岐阜市光 町 1 丁 目 2 番 地 名0582(33)4722 信州出張所 松 本 市 大 字 筑 摩 井 川 城 4578 の 1 名0263(25)3182 営業所 大阪・東京

出張所 北関東·京浜·多摩·埼玉·広島·奈良·三島·北陸·千葉·群馬·湘南

◆其の他営業種目

ダイカストマシン・発泡スチロール成形機・ラバスター・搬送機器・鋳鍛造品

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆組合員の工場拝見 ◆◆◆◆◆



の多様化をはかっている。

ラミネート工場にはラミネーター2基があり、 テーブルクロス、こたつ掛カバーカーマットな どの素材を量産している。この工場に隣接して 傍系企業の日吉産業(資本金2,000万円)があ り、シートやインテリア製品の金属加工をして いる。

持ち株制度を採用、労使一体

双葉工業が誕生したのは昭和87年だが、それまで10年間は個人会社の双葉ビニール工業所として、ビニールの雨衣を専門に製造販売していた。林社長は創業の頃は苦難の連続で「サンプルの子供用雨衣を背負って小学校を回わり、注文をもらった」と当時を回想している。いまでは年商20億円を上回る企業に成長、とくにクロスシートやキルティングの加工生産高は全国トップレベルにある。

なお、社訓に「私たちはエフ・ケーを家紋とする双葉家の人間である。私たちは一つ屋根の下に集って仕事をする…」とあるように、経営者と従業員の連携ぶりには定評があり、それを裏付けるようにこのほど持ち株制度を採用したという。(写真は日吉事業部のクロスシート工場)

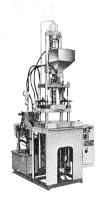
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサー ト成形に特に適した機械 と定評を頂いております。

射出量 5 グラム(兆オンス) より600グラム(20オンス)ま での各機種を製作いたしてお りますので、用途に合せてご 用命下さい。

一営業品目一

- ■熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ■ロストワックス用ワックス成 形機、ワックス溶融装置、保 温装置
- ■液状原料用射出成形機、注入 機、混合脱泡機
- ■セラミック用射出成形機
- ■当社射出成形機用金型
- ■その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。 ---成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー--

攀山城精機製作所

東 京 都 板 橋 区 弥 生 町 32番 地 TEL(03) 埼玉県川口市中青木2丁目18-21 TEL(0482) 業務部・工場 TEL(052) 901-5861番 名古屋営業所 名古屋市北区楠町味鋺政所 28番地 443-3771代 八王子出張所 571-2740番 小倉出張所 T E L (06) TEL(0426) 51-7144番 大阪営業所 TEL(092) 571-2740番 TEL(093) 471-1079番 九州営業所 前橋営業所 TEL(0272) 52-0733番 城南出張所 T E L (03) 776-2254番 TEL(0822) 32-2785番 沼津出張所 TEL(0559) 22-9610番 広島出張所

□ 製品価格改訂のチラシ作成 □

工業組合では全日本プラスチック成形工業連合会との連名で「石油製品の新価格体系移行に伴うプラスチック製品の価格改訂についてのお願い」と題したチラシを作成しました。内容はプラスチック材料の値上がり、人件費の高騰、諸経費の続騰などコスト高の実情を訴えたもので、プラスチック製品の価格改訂の理由を少しでもユーザーの方々にわかってもらうのがねらいです。チラシをご希望の方は、工業組合事務局までご連絡下さい。

□ 小規模融資制度の活用を □

中小企業融資制度については、その目的、規

模、資格、条件等によって各種ありますが、その二、三を紹介しましょう。

①無担保無保証人制小口資金

資格 = 従業員 5 人以下の会社、個人目的、期間=運転(3年)設備(5年)限度、利率=個人、会社250万円以内年利7.1%保証料0.65%窓口=取扱金融機関、県信用保証協会、商工会議所、商工会

②小企業経営改善資金

資格=常時雇用従業員 5 人以下で最近 6 カ 月以前から経営指導員の経営指導を 受けていること。

目的、期間=運転(2年)設備(3年) 限度、利率=運転(150万円)設備(200 万円)年7.0%

窓口=商工会議所、商工会

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。



1歩進んだ射出成形機をおとどけする

日精樹脂工業株式會社

本社・工場 長野県坂城町☎(02688)2-3000(大代)〒389-06 名古屋営業所☎(052)732-0261代 岐阜出張所 岐阜市茜部4962-1 (茜ビル) ☎(0582)72-5952

□中小企業技術者研修の実施□

岐阜県中小企業指導センターは、国、県の委託を受けて『中小企業技術者研修会』を開講します。講座内容は中期化学課程(プラスチック)で、プラスチック関連企業に勤務する従業員の社外研修として大いに利用して下さい。

会期は10月18日から11月29日まで(日、火、 土曜を除く)で、費用は国、県、受講者が3分 の1ずつ負担することになっています。開講の 主な要領は次のとおりです。

▽場所=羽島郡笠松町北及、岐阜県工業技術センター▽時間=午後6時-午後9時まで▽受講料=14,500円▽定員=25人▽カリキュラム=座学は中小企業の技術向上対策、高分子概論、高分子物理、高分子化学、接着概論、表面処理技術など16講座、実習は熱的特性、機

械的特性など4部門、8日間が予定されています。 詳細は工業技術センターかプラスチック工業 組合事務局まで。

岐阜県のプラッチック

1976 8月号

昭和 5 1 年 8 月 5 日 印刷 昭和 5 1 年 8 月 6 日 発行

発行 岐阜市六条1337(岐阜産業会館内) 電話(0582) 72-7178

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町 3 丁目 5 番地 電話(0582) 47-7231 中部ペブリシテイ・センター

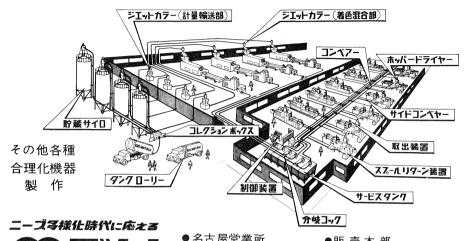
射出成型機専業メーカー

00 川口鐵工株式會社

名 古 屋 営 業 所 電話〔052〕452-6776(代表) 〒453 名古屋市中村区竹橋町1-74(さかえビル3F)

岐阜サービスセンター 電話〔0582〕94-0201 〒502 岐阜市長良福光字寺前2521 - 1

成形のコストダウンを実現する マツイ省カ化システム





- 名古屋営業所
 - 名古屋市南区干竈诵7-2 TEL.052(822)8621代)
- ●販売本部 TEL.0720(51)6120
- ●東京営業所 TEL. 03(934)3301

三井ープレン ピニクロン 747.47-A

ト・ボレックス



三井東圧化学株式会社

東京都千代田区霞が関3-2-5 本

名古屋支店 名古屋市中区錦3-23-31

(栄町ビル)

T E L (0 5 2) 9 6 1 - 3 3 1 1



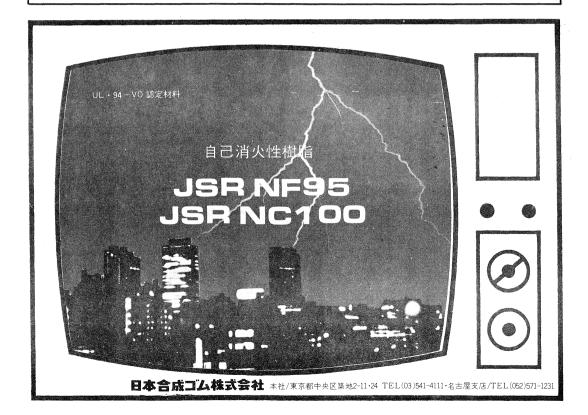
性友化學二當株式會社

名古屋営業所

460 名古屋市中区錦1丁目11番18号 (興銀ビル)

電話 (052) 201-7 5 7 1

電 略 受信ナゴヤ・サカエ・スミナコ 発信スミナコ



造へのはばたき。

あらゆる可能性を語りかけるすばらしい素材



社/東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03) 271-3001 名古屋営業所/名古屋市中区錦 3 -11-23 三栄ビル ☎(052)951-6396



伊藤忠商事株式會社

名古屋支社 化学物産部合成樹脂課

名古屋市中村区笹島町1丁目223番地(名鉄バスターミナルビル) 電 話 名 古 屋 (052) 583-(2481~2486)

徳山ポリプロ 徳山のアフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



德山曹達株式會社

名古屋営業所

名古屋市中村区広小路西通り3丁目4番地(新名古屋ビル東館5階) 電話(052)581-1304代)

本 社 山口県徳山市御影町1番1号 電話(0834)21-4321 加工研究所 山口県徳山市晴海町1番1号 電話(0834)22-1661 支店・営業所 東 京・大 阪・福 岡・広 島・高 松

**** の石油化学製品



○取扱品目 ポリスチレン 高圧ポリエチレン 中低圧ポリエチレン ポリプロピレン ABS樹脂 不飽和ポリエステル カルプ® ポリカーポネート

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111 東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331 名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611 大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841 福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎092-721-6617

三菱レイョン株式会社

取締役社長 金 沢 脩 三

社 〒104 東京都中央区京橋二丁目8番地 電 話(03)272-4321代

名古屋支店 〒450 名古屋市中村区広井町3丁目88番地(大名古屋ビル10階) 電 話(052) 561-6711(代)

信載P.V.C.

塩ビは信越……と評価されている理由

- ●信越化学は系列の日信化学と合わせ、
 ●グループの一翼である信越ポリマーを通じて
- 置・質ともにトップメーカーです。

原料から一貫 生産を行ない、 常に新タイプの開発にとりくんでいます。 応用面の研究も充実しています。

- 需要家のニードを品質に生かします。
- ●工場の1つに、130M'の大型重合器を備え コンピューター操作による最新鋭工場を有し ています。



本 社 東京都千代田区大手町 2 - 6 - 1 電話(03)242-1211(大代表) 名古屋支店 名古屋市中村区広小路西通3- (新名古屋ビル) 電 話代表 581 - 6511

鋼と機械の総合メーカー



株式 日本 製鋼所

日鋼プラスチック機械センター 日 鋼 サ ー ビ ス 株 式 会 社

本 社 東京都千代田区有楽町 1-12(日比谷三井ビル) 電 話 (03) 501-6111

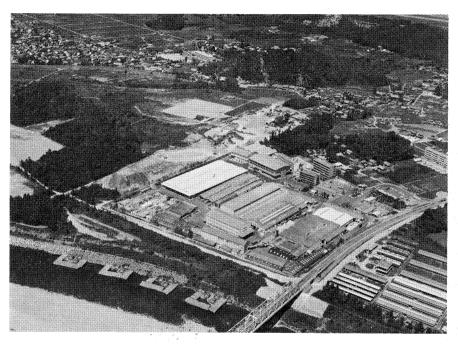
名古屋営業所 名 古 屋 市 東 区 布 池 町 32 電 話(052) 935-9471

大阪営業所 大 阪 市 北 区 中 之 島 2 - 22 電 話 (06) 203-3 6 6 1

すぐれた品質と広範囲なシェアーをもつ!!



JX07.7XF"7



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品は他にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業㈱が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。 全国における販売シェアーは常にトップクラスにランクされています。

家庭用品から大形コンテナーまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233代 稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311代 支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮